

これまでに千葉医療センターで TDM*対象抗菌薬の投与を受けた患者様へ

【過去の治療データを調査研究に利用するためのお願い】

※TDM：治療効果や副作用に関する様々な因子をモニタリングしながらそれぞれの患者に個別化した薬物投与を行うこと。Therapeutic Drug Monitoring の略語

当院では下記の臨床研究を実施しており、対象となる患者様の診療情報などを研究目的で利用させていただきます。本研究を行うことで患者様に負担が生じることはありませんが、対象者となることを希望されない方、詳しくこの研究について知りたい方は、下記連絡先までご連絡ください。

【研究課題名】 TDM ソフトを変更したことによる血中濃度予測精度、治療効果等についての比較検討

【はじめに】

私たち薬剤師は投与量の調節が必要な薬剤を使用するにあたり、投与設計を手助けしてくれるソフトウェアを使用しています。

ガイドライン変更に伴い当院でも使用するソフトウェアを変更いたしましたが、TDM ソフトを変更したことによる血中濃度予測精度、治療効果等についての比較検討を行います。

【対象となる患者様】

対象：当院にて TDM ソフトを変更した時期（2022 年 4 月 25 日）の前後約 1-2 年程度に TDM 対象の抗菌薬を処方された患者様

【研究内容】

カルテより下記の診療情報を収集します。

- ① 臨床所見（年齢、性別、主病名、術式、検査値など）
- ② 身体所見（処方後の食事摂取量、体重変化量、有害事象など）
- ③ 使用薬剤、既往歴 など

この研究を行うことで患者様に新たな負担が生じることはありません。

【個人情報の管理について】

収集されたデータは、匿名化して患者様の個人情報が外部に漏れることがないように十分注意して管理いたします。プライバシーの保護に細心の注意を払いますので、あなたの個人情報が公表されることもありません。個人を特定できる氏名、住所、電話番号等は収集しません。またこれらの試料等を利用した医学研究によって得られた成果等が、学術集会や科学

専門誌で発表される場合でも個人が特定されることはありません。

【研究期間】

倫理委員会の承認後、2027年3月31日まで

【医学上の貢献】 ソフトウェア切り替えによる血中濃度予測精度の変化等については十分検討されていないため明らかにすることができます。

【連絡先】

住所：〒260-8606 千葉県千葉市中央区椿森 4-1-2

電話番号：043-251-5311（代表）（月～金：8時30分～17時15分）

担当 千葉医療センター 薬剤部 廣瀬 健一/松永 浩明